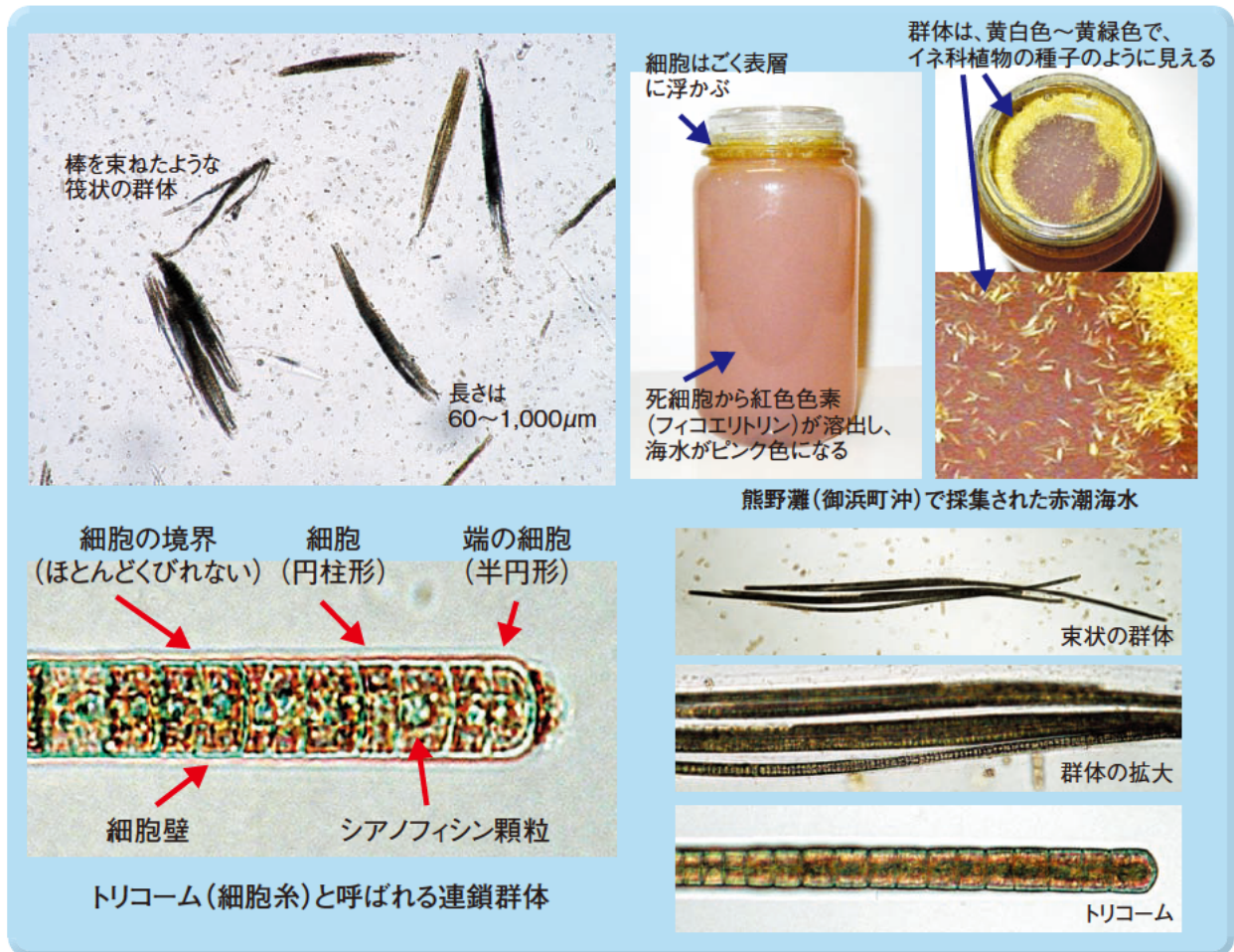


トリコデスミウム エリスラエウム(藍藻)

(*Trichodesmium erythraeum*)



大きさ 直径7~12 μ m、長さ5~11 μ m(トリコームの長さ:60~1,000 μ m)

形態 色は暗緑色~茶褐色。細胞が連鎖して、トリコーム(細胞糸)と呼ばれる連鎖群体をつくる。一つ一つの細胞は円柱形だが、端の細胞のみ半円形をしている。細胞の長さは、直径とほぼ同じか、直径の1/3までである。細胞どうしの境界は、くびれないことが多く、くびれてもわずかである。トリコームはまっすぐで、10~20本程度が束ねられた筏状の群体をつくる。類似種とは、トリコームの太さ、群体の形状、細胞どうしの境界部のくびれの有無などで区別できる。

動き なし。

その他 外洋性のプランクトンで、黒潮中に生育することから黒潮指標種とされている。

漁業への影響：魚介類への悪影響は報告されていない(不明)。

漁業被害：平成16年に熊野灘沿岸(御浜町沖)で赤潮が発生したが、漁業被害はなかった。

発生海域：熊野灘沿岸

発生時期：8月頃(夏季中心)